

極

南總參公案第一二三號

泰保虜收容所俘虜取締規則件報告

昭和拾七年九月拾七日

南軍總司令官伯耆守内壽一

陸軍大臣東條英機殿

首題ノ件件虜取締規則第三十七條ニ據リ別冊通報告ス

陸軍省
昭和十七年九月二十三日
午前六時

陸

陸軍省
昭和十七年九月二十三日

陸軍省

陸軍省
昭和十七年九月二十三日

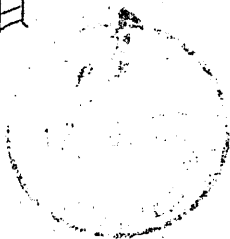
東京小津納

0377

極秘

泰俘虜收容所俘虜取締規則

昭和十七年八月十五日
南方軍總司令部



南總参ニ密第一二三號

恭倅虜收容所倅虜取締規則ノ件達

恭倅虜收容所ニ於ケル倅虜取締規則本冊ノ通

定ム

本規則ハ配布ノ日ヨリ之ヲ實施スベシ

昭和十七年八月十五日

南方軍總司令官 伯爵 寺内壽一

恭倂虜收容所倂虜取締規則

第一 本規則ハ恭倂虜收容所ニ於ケル倂虜ノ取締ニ関スル事項ヲ定ム

倂虜取締ニ関シテハ倂虜取扱規則及同細則ニ據ルノ外本規則ニ依ルモノトス

第二 倂虜收容所内ニ於ケル倂虜ノ直接ノ取締並ニ警戒ハ收容所警備隊ヲ以テ之ヲ行フモ收容所職員亦細心ノ注意ヲ拂ヒ遺憾ナクヲシムルヲ要ス

第三 俘虜收容所長ハ本所ニ分所、分遣所ニ於ケル俘虜ヲ成ルベク人種別トシ准士官以上ト下士官以下トニ區分シ收容スルモノトス

第四 俘虜收容所ニ出入（面會ヲ含ム）セントスル者ハ總司令官又ハ所長ニ分所長及分遣所長ノ許可ヲ受クルモノトス

但シ外國人ハ陸軍大臣ノ許可ヲ受クルモノトス

第五 俘虜ニ對シ直接寄贈救恤スル金錢物品

ハ州長及分州長及分遣州長ニ於テ之ヲ檢
査シ支障ナキモノト認メタルモノニ限リ其
ノ配付ヲ許可スルコトヲ得

第六 倭虜ノ發受スル電信及郵便物ハ總テ倭
虜收容所本所ニ於テ之ヲ檢閲スルモノトス
其ノ取扱ハ「倭虜郵便物取扱要領」ニ據ル

第七 倭虜將校同相當官ニシテ帝國陸軍ノ軍
規ニ對シ所要ノ宣誓ヲ爲シタルモノハ收容
所内ニ於ケル一定ノ地域及時間ヲ限リ自由

散歩ヲ許可スルコトヲ得又准士官以下ハ右
ニ準ジ毎週三回以内散歩ノ為引率外出ヲ為
サシムル事ヲ得

第八 收容所内ニハ倅虜ノ為酒係ヲ設置スル
コトヲ得、酒係ニ於テ販賣スベキ品目、數
量、價格及酒係業務ニ関スル細部ノ規定ハ
所長之ヲ定ムルモノトス

酒係開設ニ當リ出入商人ヲ厳選シ特ニ其ノ
販賣中ハ緝兵ヲ附シ監視ヲ徹ニスルヲ要ス

第九 所長ハ毎月勘クモ一回伴虜ノ居室、其
 ノ他清潔、整頓及所持品ノ検査ヲ實施スル

モノトス

第十 收容所長ハ本規則ニ基キ細則ヲ定メ
 業務ヲ實施スルモノトス